

温故知新／思い出の中央区

昭和47（1972）年4月、札幌市は政令指定都市になり、同時に中央区が誕生しました。この40年、いろいろな表情を見せてきた中央区を、当時の写真とともに振り返りましょう。

心躍らせて出かける、「まち」。

訪れる人、旅立つ人。買い物に、食事に、みんなが出かけた札幌駅や大通。かつて市電がつかないでいた都心は、地下鉄がつながぎ、さらに今、人の歩みがつかないでいます。

◀札幌駅南口（昭和54年 上は当時
の乗場案内）



▲市電が通っていた駅前通り（昭和47年）

▲南1条の歩行者天国（昭和52年）

大人も子どもも楽しめる、「まち」。

緑あふれる植物園、ネオンが夜を彩るすすきの、子どもたちでにぎわう中島公園、円山動物園…。時は流れ、その表情は変わっても、今なお大人の心を癒やし、子どもに夢を与えています。



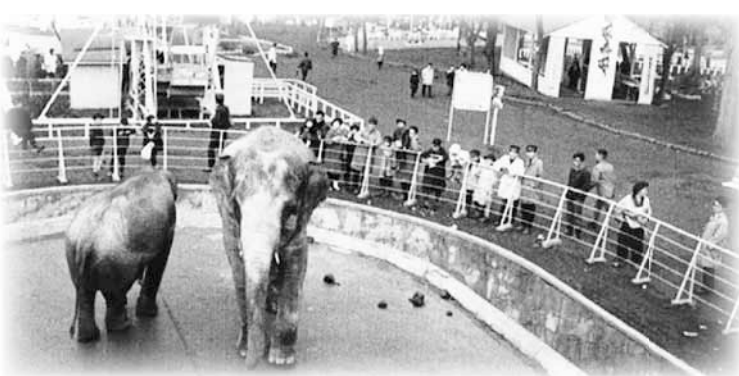
▶ひと頃のすすきの（昭和58年）



▲植物園で遠足（昭和51年）



◀中島子供の国（昭和52年）
中島プール（昭和47年）



▲円山動物園（昭和47年）

や広場のある
（平成7年）



▲中央区民センターオープン（昭和56年）

▼ミュンヘン市から「マイバウム」寄贈（昭和51年）



▲中央区シンボルマーク決定（昭和50年）



▲札幌市が政令指定都市へ中央区役所開設（昭和47年）

中央区のあゆみ